

翻刻  
經濟要旨

圖 1-35 傾斜代校  
(學校開挖)

[illegible]

24755

131

•

1. 2.

明治七年六月

翻刻經濟要旨

文部省

經濟要旨叙

經濟大矣而要旨之書不過說財  
利是不徒長人之心計總將  
移民之趨向然厚生利用既著  
於聖經而足食足兵又出於聖  
言則所謂人富而仁義附者

非耶經濟之要捨財利而惡  
取焉管子之政范象蠅之治後  
以為莫及焉由富厚而近  
儒不察務馳高遠解不懷  
矣劉歆王莽之於周官是也  
此書精細深切約可守夷可行

利源新通國本新實要首之義  
蓋於是焉得焉嗚呼今學者述  
作衆矣其言密而碎精而拘者  
逐碎者俚均不蓋於經濟則  
共劉王同壤耳而間又有排衆  
作而高自表肆其辯而馳其

狂奴前賢而隸後才抑果何  
學也且則不行而先壞者也

明治七年九月

永井 松年書



經濟要旨目錄

卷上

- |    |    |
|----|----|
| 第一 | 物價 |
| 第二 | 其二 |
| 第三 | 工價 |
| 第四 | 貧富 |
| 第五 | 財本 |
| 第六 | 租稅 |
| 第七 | 其二 |

第八 其三

卷下

第九 借貸

第十 其二

第十一 其三

第十二 分業

第十三 三大人

經濟要旨卷之上

西村茂樹 譯

第一節

物價一

○金ト銀トハ最貨幣ニ造ルニ適ス。何者此二金ハ他物ニ比スレバ形小ニシテ價貴ケレバナリ。故ニ世ニ此二金ヲ稱シテ寶金ト云フ。  
○凡、人間ハ利用ヲ論バハバ金銀ハ鐵ニ如カズ、刀剪鋤犁ノ類ハ。人間生業ヲ營ムニ一日モ闕ク

可カラザル者ナリ。刀剪鋤犂ヲ造ルハ鐵ニ及ブ  
者ナシ。金銀ヲ以テ之ヲ造レバ鈍ニシテ用ニ中  
ラズ。然ルニ金銀ノ價却テ鐵ヨリ貴キハ何ゾヤ。  
○凡、天下ハ物用ニ中ル者必シモ高價ナラス。高  
價ナル者ハ必シモ用ニ中ラズ。萬物ノ中ニ於テ  
最、人間ニ功用アルハ大氣ト水トニ及ブ者ナシ。  
此二物ナケレバ、吾儕一日モ生命ヲ保ツル能ハ  
ズ。然レモ天下大抵大氣ト水トノ為ニ價ヲ出サ  
ントスル者ナシ。何者大氣ト水トハ固ヨリ價ナ  
クシテ之ヲ得ベケレバナリ。

○然ルニ天下或ハ水ニ乏レキノ國アリ。此ノ如  
キ國ニ在テハ、其民常ニ價ヲ出シテ水ヲ買ハザ  
ルヲ得ズ。聖經ヲ按ズルニ古代ノ民井ヲ争ヒ  
テ相鬭フ者多シ。蓋、東方諸國ハ水ニ乏シキノ地  
多ク、井ヲ以テ一ノ財産トスレバナリ。然レバ水  
ニ乏レキノ地ハ水ニ價アリ。水ニ富メルノ地ハ  
水ニ價ナシ。若、人生ハ利用ヲ論ゼバ、價アルハ水  
ト、價ナキハ水ト畢竟何ゾ異ラン。是ニ由テ見レ  
ハ、物ノ價ハ得難キヨリ生ズルヲ明ナリ。鐵ノ如  
キモ之ヲ得ルヲ甚難キノ地ニ在テハ其價甚貴

キヲナルベシ。

○吾儕嘗テ航海シテ一ノ夷島ニ至レリ。其島固ヨリ鐵ナシ。夷民一ノ家豚ヲ携ヘ來リ。我鐵釘數根ニ易ヘ。自ラ以テ益ヲ得タリト為ス。然ルニ天下固ヨリ鐵ニ富メルノ地アリ。此ノ如キ地ト雖モ鐵ハ自鐵ハ價アリテ全ク無價ハ物ニ非ズ。其價ノ由テ生ズル所以ハ何ゾ。鐵ハ其初メ礦中ヨリ掘出シ。爐ニ熔解シ。火ニ鍛鍊シ。幾多ノ工力ヲ費シテ後始メテ要用ノ器物ト為ル。是其價ヲ生ズル所以ナリ。若レ刀剪針釘ノ類。自然ニ其形ヲ成シ

ノ地上ニ散布スル。石子ノ如クナラバ。鐵モ必價ナキノ物ヲラン。何ントナレバ。人之ヲ得ルニ。初ヨリ價ヲ出ス。下無ケレバ。ナリ。價ナクシテ之ヲ得ルト雖モ。其利用ハ價アル者ト異ナル。一無カルベシ。

○然レハ難得ハ二字。未ダ以テ物價ハ由テ出ル處ヲ。盡スニ足ラズ。必ズ人々皆其物ヲ好ムニ由テ。始メテ其物ニ價ヲ生ズル。一ヲ得可。今一種ノ石アリ。甚罕ナル者ナレバ。其質美麗ナラズ。又人間ノ利用ニ中ラズ。之ヲ人ニ賣ク。ント欲スレ

凡價ヲ出シテ之ヲ買フ者ナシ、然レバ此石ハ價  
ナキ物トイフベシ、此石ハ價ナキ所以ハ、是ヲ得  
ルハ難易ニ由ルニ非ズシテ、是ハ好ム者無キニ  
由ルナリ、

○更ニ一種ノ寶石アリ、甚得難キノ物ニシテ其  
質甚美麗ナリ、人間ノ利用ニ中ラズト雖モ、是ヲ  
文飾ニ用フレバ甚美ナリ、此ノ如キ者ハ其價大  
ニ他物ヨリ貴シ、金剛石紅寶石ノ如キ是ナリ、凡  
人ハ工作ニ勞スル者ハ精巧ハ物ヲ造リテ之ヲ  
貴ク賣ランガ為ナリ、衣服飲食ヨリ玉石ノ彫鏤、

玩弄ノ器物ニ至ルマデ皆然ラザルトナリ、

○精巧ノ物ヲ愛スルハ人情ノ同シキ所ナリ、唯  
目ヲ悦バシムルハミナラズ、之ヲ着クルハ亦  
己ハ多ク費セテ表スルニ足レバナリ、野花ノ  
一枝或ハ彩絲寶石ヨリ美ナル者アリ、然レモ世  
ノ婦人彩絲寶石ヲ著ルヲ好ミテ野花ヲ著ルヲ  
好マザルハ何ゾヤ、多費ヲ表シテ自喜バハ人情  
ハ同シキ所ナレバナリ、

○凡天下ノ民其身ノ分ニ應ジテ衣服家屋等ヲ  
飾ルハ固ヨリ不可ナルヲナレ、苟其分ヲ過ルル



ハ、終ニ自窮困ヲ招クニ至ルベシ。此ノ如キ人ハ  
有用ノ物ニ財ヲ費ヤスヨリハ華飾ノ物ニ費ヤ  
スヲ多シ。若シ華飾ニ費ヤスヲ止メ、有用ノ衣服  
器材ヲ買ヒ、清潔ニ之ヲ保持セバ太宜シカルベ  
シ。縱使精緻ノ物ト雖モ、破毀汚穢スルニ至ラバ  
豈見ルニ堪フヘケンヤ。

○以上ノ説ニ通ジテ之ヲ觀レバ、凡ノ物ニ價ヲ生  
ズルハ、其物人間ノ利用ニ供スベキカ、其質甚美  
麗ナルカ、是ヲ以テ樂ヲ取ルベキカハ一件ハ有  
シ、又其物甚罕ニシテ之ヲ得ルハ界限狭ハ徒手

ハ以テ之ヲ得可カラザルニ因ルハ明カナリ。其  
中ニ於テ人々皆之ヲ好ミ、而シテ之ヲ得ルハ甚  
難キ者ハ最價貴キノ物ナリ。

○金銀ノ價ノ鐵ヨリ貴キモ、其理亦適ニ此ノ如  
シ。若シ金銀ヲレテ全ク利用ニ中ラズ其質美麗ナ  
ラダラシメバ、決シテ之ヲ好ムノ人ナカルベシ。  
然ルニ人皆之ヲ好ムヲ以テ其價大ニ鐵ヨリ貴  
シ。其貴キ所以ハ、鐵ニ比スルハ甚罕ニシテ之ヲ  
得ルハ亦難ケルナリ。天下金銀ヲ産スルノ地  
多カラズレテ之ヲ得ルノ量モ亦太少し、殊ニ金

ハ多ク微塵狀ニ其形ヲ現ハシ、許多ノ辛勞ヲ以テ泥沙ヲ淘汰スルニ非ザレバ之ヲ得ルヲ能ハス。大約金一斤ヲ得ルノ工力費用、銀十五斤ヲ得ルノ工力費用ト相匹敵ス。金一斤ハ價凡銀十五斤ハ價ト相均キハ職是ニ由ルナリ。

○人ハ之ヲ好ムト得ルハ難キトハ外價アル物ニ又望ムベキナリ。互ニ相交易スベキナリ。其物ヲ以テ人ニ分與スベキナリ。譬ヘバ健康ハ人ノ甚好ム處ニレテ人々皆之ヲ有スルヲ得ズ。故ニ人或健康ヲ稱レテ價アルノ物トイフ。然レ

凡此名ハ辭ノ正義ニ非ズ。其故ハ人其健康ヲ以テ他人ニ賣與スルヲ能ハザレバナリ。富者金千斤ヲ以テ貧者ノ健康強固ヲ買ハニトス。貧者亦喜ンデ之ヲ賣ラント欲シ。自其肢體ヲ切斷スト雖、其健康強固ハ以テ富者ニ與フルヲ能ハズ。或攝生不良ニシテ其健康ヲ失フ者アレバ其失フ所ヲ以テ之ヲ他人ニ分與スルヲ能ハス。

第二節

物價ニ

○物價ノ原因ヲ論ズルノ後、又左ノ問答ヲ設ケ。

初メテ此義ヲ聞ク者ヲシテ容易ニ了解スルヲ得セシム。

問

大氣ハ何故ニ有價ノ物ニ非ザルヤ。

答

大氣ハ人生必用ノ物ナリト雖モ徒手ヲ以テ之ヲ得ベシ。是其價ナキ所以ナリ。

問

用ニ中ラズ、又美麗ナラザル、石ハ甚罕ナル、物ト雖モ、其價ナキハ何ゾヤ。

答

人々皆得ベキ、物ニ非ズト雖モ、人ノ之ヲ好ム者ナシ。是其價ナキ所以ナリ。

問

身體ノ健康ハ何故ニ有價ノ物ニ非ザルヤ。

答

人皆之ヲ得シヲ欲シテ人皆之ヲ得可キノ物ニ非ズ、然レ此物ハ他ニ轉易スル能ハス、即此人ノ健康ヲ以テ彼人ニ移ス能ハザレバナリ。

問

鋤犁ノ有價ノ物タルハ何故ゾ。

答

其一ハ人生ノ利用ニ適スルヲ以テ人ノ之ヲ得シヲ欲ス、其二ハ是ヲ作ルニ多量ノ工

加フ費ヤス、其三ハ此人ノ有スル所ノ物ヲ以テ彼人ニ轉移スベシ。是其價アル所以ナリ。

問 銀匙ノ鋤犁ヨリ高價ナル所以ハ何如シ。

答 銀匙ハ利用、鋤犁ニ優イルニ非ス、然レモ之。

ヲ得ルヲ甚容易ナラズ、即チ銀礦ノ工作艱苦

ニシテ鐵ニ比スレバ之ヲ採ルヲ更ニ難シ。

是其高價ナル所以ナリ。

○凡ソ人ハ好ム所ハ物ハ多クハ力ハ勞スルニ由  
テ成リ、カヲ勞セザルニ由テ成ルヲ能ハズ、故ニ  
人ハ好ム所ハ物ヲ作ラント欲セバ、先己ガカヲ  
勞セザルベカラズ、カヲ勞スルヲ大ニシテ始メ  
テ其價ヲ賣ルスルヲ得可シ、是ニ由テ或人謂

ヘタク、物ノ價ノ賣キハ、其物ノ上ニ勞ヲ積ム故  
ナリト、然レモ此言未ダ理ニ中ラズトス、凡ソ物ハ  
貴キハ、其物ニ多クエカヲ費ス故ニ在ラズ、イテ、  
其物ヲ得ル為ニ多クカヲ勞スルニ在リ、今二人  
ノ漁者アリ、雨ト寒トヲ冒シテ海上ニ出テ辛苦  
シテ魚ヲ漁ス、其意共ニ多クノ價ヲ得ント欲ス  
ルニ在リ、然ルニ一人ハ辛勤徹夜ニシテ僅ニ小  
魚一尾ヲ得タリ、一人ハ淺湍ニ漁レテ幸ニ魚十  
頭ヲ得タリ、二人ノ力ヲ勞スルヲ同ジト雖モ、甲  
者ハ一魚ヲ以テ乙者ハ十魚ト其價ヲ同カスル

下能ハズ。又鰕魚ヲ漁スル者ハ鰕魚屢跳テ舟中ニ入ルヲアリ。此ノ如キハ之ヲ獲ルニ些少ハカヲ費サズト雖モ是ニ由テ其魚ハ價ヲ減ズルヲシ。又牡蠣ヲ食フ者ハ時アリテ眞珠ヲ得ルアリ。此眞珠ト連日搜索シテ得ル所ノ眞珠ト其價ヲ異ニスルヲナシ。

○然レハ人ノ勞ニ因テ物ノ價ヲ生ズルヲ能ハスト雖モ物ノ價アルハ人ノ力ヲ勞スルニ由テ得タリシ者ナリ。蓋上帝下民ヲシテ怠惰ナラシムヘトヲ欲セズ。故ニ凡ソ上帝ハ造為セル物ハ中

ニ於テ苟人ノ之ヲ欲スル者ハカヲ勞セザハバ之ヲ得ルヲ能ハズ。日用ハ麴包ハ如キモ面上ハ汗ヲ博シテ始メテ能ク之ヲ得可シ。凡ソ人間ノ利用幸福安樂勤勞ニ非ザレバ安ンゾ之ヲ受ルヲ得ンヤ。

### 第三節

#### 工價

○同クカヲ勞シテ價ヲ得ルハ多キ者アリ。少キ者アリ。木匠ハ農夫ヨリ工價ヲ得ルヲ多ク。銀匠ハ工價ヲ得ルヲ二人ノ者ヨリ多シ。彼カヲ勞ス

ルハ少クレテ此カヲ勞スルハ多キニ非ズ  
○心ヲ勞スル者モ亦カヲ勞スル者ト相同ジ  
銀舗ノ書辦ハ會計ヲ誤ラザランガ為ニ其心ヲ  
勞スルハ甚多シ然レモ其工價ヲ得ルハ狀師  
狀師ハ法律ニ熟練セル者ニテ他人ノ委託ヲ受  
ルキハ其人ノ為ニ訟庭ニ出テ是非ヲ辨論ス略  
差、公、正ナル者ナリ、醫者ニ及バザルヲ遠シ  
○是ニ依テ見レハ工價ノ多少ハ心カヲ勞スル  
ハ多少ニ由ルニ非ズレテ其業ノ價ニ高低アル  
ニ由ルナリ

○業ノ價ノ高低ハ何ニ由テ生ズルヤ

○業ハ價ハ高低ハ物ハ價ハ高低ト同ジク之ヲ  
得ル限畧ハ廣狹即之ヲ得ルノ難易ヨリ生ズ若  
金一斤ヲ得ル為ニ費ス所ノ財用時日工力銅一  
斤ヲ得ルノ財用時日工力ヨリ多カラザルキハ  
金ハ價ハ大ニ銅ハ價ニ過グハトヲ得ザルナル  
ベシ

○錶匠醫者トナルハ木匠農夫ト為ルヨリ其畧  
限何故ニ狹キヤ農人ト為ルヨリ錶匠ト為ルハ  
何故ニ甚難キヤ  
○是ヲ學バニ許多ハ値ヲ費スニ由ル今錶匠或

醫者ノ術ヲ學バントスルニハ其成熟ニ至ルマ  
デ幾多ノ歲月ヲ費サビルヲ得ズ又之ヲ學フ  
ノ間百般ノ用度及ビ教師ノ束脩ニ幾多ノ財ヲ  
費サビルヲ得ズ故ニ人ノ父タル者縱令其財  
アリト雖モ其子ノ才果シテ錶匠又ハ醫者ト為  
ルニ堪ルヲ知ルニ非ザレバ易キ木匠ノ業ヲ棄  
テ難キ錶匠又ハ醫者ノ業ヲ學バシムル者ナレ  
已ニ之ヲ學バシムルト雖モ其子或ハ驚鈍或ハ  
怠惰ナルキハ遂ニ其業ニ熟達スルヲ能ハズレ  
テ為メニ費シタル財用ハ盡ク空費ト為ル今外

科醫ノ人ノ脚ヲ接グハ木匠ノ几案ノ脚ヲ接グ  
ヨリ價ヲ得ルヲ多シ其故ハ之ヲ學ブニ多ク財  
ヲ費セシニ由テ然ルニ非ズ費ノ多キニ由テ之  
ヲ學ブ者少キニ由ルナリ學ブ者少キニ由テ之  
ヲ得ルハ界限狹シ狹キガ故ニ其人ニ限リアリ  
是多ク工價ヲ得ル所以ナリ

○勞ノ種類ニ由テ價ニ高低アルハ物ノ種類ニ  
由テ價ニ高低アルト其理相同ジ總テ之ヲ得ル  
ノ界限狹キ者ハ價貴ク界限ハ廣キ者ハ之ニ反  
ス

○天稟俊才ノ者ハ其業ヲ學ブニ、多ク財ヲ費サ  
ズト雖モ、其成功ハ多ク財ヲ費セシ者ニ異ナル  
ヲナシ、譬ヘバ天性畫法ニ長ズル者アリ、其畫ヲ  
學ブニ多ク財ヲ費サズシテ良畫師ト爲リ、其畫  
ヲ作ルニ深ク刻苦セズシテ尋常ノ畫師ニ比ス  
レバ十倍ノ價ヲ得タリ、然ル所以ノ者ハ何ゾヤ、  
天稟ノ俊才ハ多ク得難ケレバナリ、即之ヲ得ル  
ハ界限狭キ者ハ其價貴レトイヘルハ理ナリ、  
○然ルニ又其業ヲ學ブニ許多ノ財ヲ費スルモ  
ナク、天稟ノ人ニ卓越スルヲモナク、別ニ他ノ原

由アリテ之ヲ得ルノ界限甚狹ク、是ガ爲ニ貴キ  
工價ヲ得ル者アリ、是等ハ其業トスル所、或ハ身  
體ニ害アルカ、又ハ危險ハ恐ルハ者ナレバ、貴キ  
工價ヲ與ヘザレバ、其業ヲ營ハ者ナケレバナリ、  
即家屋ヲ塗彩スルノ工、礦山ヲ掘ルノ工、火藥ヲ  
製スル工ノ如キ是ナリ、

○彼ノ勞スルヲ我ニ過ギズシテ、工價ヲ得ルヲ  
我ヨリ多キハ人以テ公平ナラズトスベシ、又  
此者彼者ヲ強ヒ價ヲ定メテ彼者ヲ役使スル時  
ハ彼者ハ甚艱苦ノヲト云フヘシ、諸國ニテ奴隸



ヲ慕フノ狀ヲ見ルニ、常ニ強迫シテ之ヲ役使シ、  
之ニ與フル者ハ日々ノ食物ト生活ニ已ムヲ  
得ザルノ物トニ過ギズ。此ノ如クナラバ牛馬ヲ  
役使スルト何ゾ異ナラン。若シ他人ヲ強ヒ我ヨ  
リ價ヲ定メテ其力ヲ勞セシメ、又ハ其衣服獸畜  
穀物等ヲ賣ラシメバ、彼ノ困難亦甚シカルベシ。  
然レモ此ノ如キヲハ必<sup>ズ</sup>無キノ<sup>ト</sup>ニシテ買ハ者  
ハ幾許ハ價ヲ以テ其物ヲ買ハント云フヲ得  
ベク、賣ル者ハ此物ニ幾許ハ價アリト云フヲ  
得可シ。夫自勞スル者ハ勞ヲ賣ル者ナリ。人ノ勞

ヲ用ル者ハ勞ヲ買フ者ナリ。賣ル者買フ者共ニ  
自由ニ任セテ強ルヲアルベカラズ。

○今人アリ、太ダ貴キ價ヲ以テ其番薯ト牛トヲ  
賣ラント欲スルモ亦妨ゲナシ。唯他人ヲ強ヒ、已  
ガ定メシ價ヲ以テ之ヲ買ハシムルヲ能ハズ。又  
一ノ工人アリ、太貴キ價ヲ以テ其勞ヲ賣ラント  
欲スルモ亦妨ナシ。唯人ニ迫リ、己ガ定メシ價ヲ  
以テ其勞ヲ買ハシムルヲ能ハズ。工人自ラ反思ス  
ベシ。裁縫匠木匠鞋匠等各其作ル處ノ物ヲ以テ  
自ラ其價ヲ定メ、工人ハ求ムルト求メザルトヲ論

ゼズ、強テ之ヲ買ハシムトモ、工人能ク之ヲ買フヤ否、其理正ニ是ト相同ジ。

○古代ニハ官ヨリ工價ヲ定メ、之ヲ律文ニ載セ、諸ノ工人ヲシテ盡ク之ヲ遵守セシム、若シ工人其定價ヲ低昂スルキハ、與フル者受クル者俱ニ罰アリ、然ルニ此法少シモ良處アルヲ見ズ、先、田庄ノ工ニ就テ之ヲ言シ、若シ律文ニ定ムル處ノ工價、庄戸田主地主ガ從來耕夫小作又ハ傭ニ給セシ工價ヨリ貴キハ、庄戸盡ク尋常ノ耕夫ヲ逐ヒ、獨、良耕夫ノミヲ留メ、獨、良田ノミヲ耕サバル

トヲ得ズ、然ルハ庄戸ハ穀物ノ收納大ニ減少シ、低價ヲ甘ゼシ庸耕夫ハ、傭フ者ナクシテ餬口ノ途ヲ失フヘシ、又律文ノ定價、庄戸ガ良耕夫ニ給セントスルヨリ低キハ、庄戸竊ニ價ヲ増シテ其力ヲ得ント欲スルハ自然ノ勢ナリ、他日會計ヲ為スハ、其穀ノ價ヲ低クシ、又ハ他法ヲ以テ、其不足ヲ補ヒ、以テ律文ヲ遁ル、若シ一ノ庄戸之ヲ行ヘバ、他ノ庄戸又良耕夫ヲ失ハザランコトヲ欲シテ竊ニ之ニ倣フ、是ニ依テ律文ハ此條件遂ニ虛文ニ歸ス。

○凡、工價ハ他ノ賣買ノ如ク、自勞スル者ト勞ヲ用フル者トノ意ニ任セ、高低授受共ニ自由ナルベシ。交易ノ如キモ、賣ル者ト買フ者ト其意合ハハ賣買ハ合セザハハ賣買セザルヲ以テ宜トスベシ。

○工、人、職、人、トハ我邦ノ職人ノミヲ云フニ非ズ、為ニカヲ職人トテ論其他日傭農作等スベテ人ノ得ル者ヲ工人ト云フハ多ク、目前ノ視テ後日ハ慮ルヲ知ラズ、是ニ由テ屢窮乏ニ陥ルヲアリテ人ノ庇助ヲ仰ガント欲ス、今一ノ工人アリテ一

時許多ノ工價ヲ得タリ、工人暫時ニ之ヲ費シ盡シ、窮時ノ為ニ些少ヲ留ルヲ知ラズ、爾後此工人為ス可キノ工作ナク、或ハ之ヲ為スモ其工價太低ク、是ニ由テ大ニ窮迫ス、此窮迫ハ已ガ遠慮ナキヨリ生ゼシトニテ決シテ他人ヲ怨ムベキトニ非ズ、左ノ寓言ニ因テ蜂ノ言ヲ思フベシ。

○天將ニ冬ニ近カラントス、蟋蟀寒ト飢トニ苦シシ、貯蓄ニ富メル蜜蜂ノ巢ニ至リ、低首シテ蜜ノ數滴ヲ乞ヒ、以テ己ガ飢ヲ療セント欲ス、一蜂蟋蟀ニ問テ曰ク、汝何ヲ為シテ汝ノ為ニ宜シキ

夏時ヲ過ゴセシヤ、何故ニ我等ノ如ク、今日ノ為  
ニ食料ヲ貯ヘ置カザルヤ、蟋蟀答テ曰ク、吾輩或  
ハ飲ミ、或ハ躍リ、或ハ歌ヒ、以テ優ニ我時ヲ過ゴ  
セリ、固ヨリ冬ノ来ルヲ慮ラズ、蜂曰ク、吾等ノ  
志ハ是ニ異ナリ、吾夏日ニ於テ勞苦シテ我業ヲ  
營ム者ハ、預、食料ヲ貯ヘ、以テ闕乏ノ時ノ用ニ供  
セシガ為ナリ、吾等冬日ニ至リ、寒餓ハ苦ヲ免カ  
ル、所以ハ者ハ、夏日ニ於テ、或ハ飲ミ、或ハ躍リ、  
或ハ歌ハザリシヲ以テナリ、

#### 第四節

#### 貧富

○凡、民ノ業ハ價ノ貴キ者アリ、價ノ低キ者アリ  
ト雖モ、皆其力ヲ勞シテ生活ノ計ヲ立ザル者ナ  
レ、然レモ此外又別類ノ民アリ、或ハ其父金ヲ積  
ミ、或ハ其身財ヲ儲ヘ、是ヲ以テ其生計餘裕アル  
者アリ、此ノ如キ富民ハ或ハ仕テ高官ニ登リ、或  
ハ議事院ノ議員ト為リ、以テ其心ヲ勞スル者多  
シ、然レモ是ハ自、好ミテ為ス所ナリ、一身ノ生計  
ハ所有ノ財産ニテ充足シ、更ニ為ニ力ヲ勞スル  
ヲナシ、

○勞セザレバ生計ヲ立難キノ民ト。勞セズニテ生計充足スルノ民ト相比スルキハ、充足スルノ民ハ其數甚僅々ナリ。天下未富民ハミニテ貧民ナキハ地アルヲ聞カズ貧民ハミニテ富民ナキハ地ハ往々之アリ。一郷皆勞セザレバ生計ヲ立難キハ地ニ於テハ勞スルモ猶生計ヲ立難キノ民アリ。蠻夷ノ邦ニ於テハ其民食物常ニ足ラズシテ半身裸體ナル者多シ。又民ノ財産ヲ保護シ其民能ク勉強スルノ所ハ土地ノ富饒日ニ増盛スベシ。凡、勉強ニテ儉約ナル民ハ怠惰ニシテ

奢侈ナル民ヨリ多ク富ヲ得可キヲ論ズルハ須タズ。此ノ如キ民ハ子孫ノ為ニ更ニ富ヲ得ルノ基ヲ遺スヲ得ベシ。

○少年輩能己ノ時ヲ用ヒ速ニ學問ニ志シ深ク勉強シ確實ニ其學ガ成就スルキハ學問ノ為ニ費セシヨリハ許多ノ貨財ヲ受ルヲ得ベクシテ又其財産ノ一分ヲ以テ子孫ニ貽ルヲ得ベシ。又資産アル民ハ其資産ヲ華費スルヲナク崇グベキ勉強ト智慧ト儉約トニ由テ其資産ヲ増殖スルヲ務ムルキハ遂ニ自、豪富ヲ致スヲ得

ベシ。諸國ニ於テ屢見ル所ノ富家豪族ハ多ク此  
法ヲ以テ貧賤ヨリ成立セシ者ナリ。人皆貧民ニ  
望ムニ富民ト為ルハ一ヲ以テセズ。テ貧民モ  
亦自富民ト為ルハ望ヲ絶セリ。然レ氏人自奮テ  
其貧賤ノ態ヲ改メント欲レ。又其財産ヲ子孫ニ  
傳ヘント欲スルハ天下固ヨリ之ヲ禁ズル者ナ  
シ。能此理ヲ知ルハ人間ノ好思想ニシハ精神ヲ  
奮發スベキハ根原ナリ。

○己ノ財産ヲ子孫ニ傳ヘントスルニ他ノ妨碍  
ニ由テ其事ヲ遂ガル能ハザルハ甚憂苦ノ事ナル

ベシ。諸國ニ於テ民ノ財産ヲ保護セズ。或ハ之ヲ  
其身ニ奪ヒ。或ハ之ヲ其死後ニ奪フ者アリ。此ノ  
如キ地ニテハ其民財産ヲ蓄ハルヲ以テ益ナシ  
ト為シテ之ヲ務ムル者ナレ。故ニ其民舉テ皆貧  
困ナリ。

○又諸國ノ中ニ於テ古代ハ物産衆多ニシテ民  
口蕃庶ナリシガ其後土耳其人又ハ其他此如キ  
暴虐恣睢ノ政ニ逢ヒ其國變シテ殆荒漠ノ野ト  
為リシ者アリ。巴爾巴バールバ黎リ亞リ弗リ利リ加リノ地ノ如キ  
ハ古ハ蠶絲ノ産アリシガ方今ハ所々ニ桑樹ノ

枯凋スル者アルノミニテ新ニ之ヲ植栽スル者ナレ、何者其政府ニテ此物産ヲ保護スルトナキヲ以テ、此ハ如ク枯落凋衰ニ及ビ、此者ナリ。  
○若、富民ノ財産ヲ奪ヒテ悉之ヲ貧民ニ領與シ、富民ヲ禁ジテ爾後財ヲ蓄ヘザラシメハ、貨財ノ流通平均ヲ得テ、貧民或ハ貧ヲ免カル、一ヲ得可キカ、是、大ニ然ラズ、若、然ルハ、貧民ハ、貧、今日ヨリ、益、甚シカル可シ、其故何ゾヤ、縱令今此法ヲ行フト雖モ、貧民遠ニ富民ト為ルヲ能ハズ、必舊ニ仍テ衣食ヲ求ムルカ為ニ其力ヲ勞スルヲナ

ルベシ、カラ勞スルヲ舊日ノ如クニシテ益ヲ得ルヲ舊日ニ及バズ、蓋、富民其財ヲ失フハ、大ナル工場ヲ建テ大ナル田園ヲ有スル者ナク、其造リ出セル物モ一年或ハ二年ノ後ニ非ザレバ其利ヲ得ルヲ能ハズ、富民ノ利ヲ得ルヲ少ナケレバ、其傭フ所ノ工人ニ多ク工價ヲ給セサルハ自然ノ勢ナリ、是ニ由テ國民皆僅ニ飢寒ヲ免カルベキ小ナル田ヲ耕シ、所謂手ヨリ口ニ入ルトイフ如キ状態ヲ以テ其生ヲ送り、盡カレテ財産ヲ蓄ヘントスル者ナリ、其故ハ若、富饒ハ目アル

片ハ、忽其財産ヲ奪ハレ、他人ニ分與セラル、ヲ以テナリ。

○此ノ如キ民若、凶荒ニ逢ヒ、又ハ家中ニ病者等アル片ハ如何スベキ、些少ナル貯蓄ヲ用ヒ盡レタル後更ニ災厄ニ遇フアル片ハ又如何スベキ、此ノ如キハ世間ニ於テ屢見ル所ナレバ窮民ハ日ヲ逐ヒテ其數ヲ増スベシ、此時ニ至リテ唯他人ノ為ニ傭夫ト為ルノ外他策ナシ然ルニ他人モ亦同様ノ狀態ナレバ、微倖ノ利ヲ得ル者ノ外ハ、新ニ傭夫ヲ用フル者ナカルベシ、僥倖ノ

利ヲ得シ者モ竊ニ其財ヲ藏シ、人ヲシテ之ヲ知ラレメズ、若人ニ知ラル、片ハ亦分與ノ為ニ強迫セラル、ノ恐アリ、故ニ僅ニ餘財アル者ハ、地ヲ掘テ之ヲ其中ニ匿ス等ノヲアリ、此事ハ古代貧富平均ノ法ヲ行ヒレ國ニ於テ有レテ又貨財ノ太乏レキ地ニ於テモ有レテナリ、此ノ如キ勢ト為ル片ハ其國ノ貧困ハ日ニ益進ミテ水ノ下ニ就クガ如シ、其故ハ民ノ志唯飢渴ヲ免カル、ニ止マリテ更ニ生業ニ勉強スル者ナレ、縱令勉強スルモ、其勞ニ相應セル酬ヲ受クルヲ



能ハザレバ到底無益ノ勞ニ近シ。或ハ大ニ智力ヲ奮發シ財産ヲ蓄ヘントスルトモ、遂ニ之ヲ保護スルノ途ナケレバ、敢テカヲ其事ニ用フル者ナレ。是ヨリ地ノ産民ノ力、共ニ大ニ減縮シ、終ニ全國悉ク貧困ニ陥リ、國勢退歩シテ恰半蠻ノ國ノ如キニ至ルベシ。是ニ至リテ、富民ハ變ジテ貧民ト爲リ、貧民ハ前時ヨリ益ク貧困ト爲リ、國民皆方今ハ乞兒ノ如ク爲リ、遂ニハ物ヲ乞フト雖、之ヲ與フル人ナキニ至ルベシ。

○然ラハ何シセハ可ナラシ。富民貧民中、產ヲ論

ザス。都テ國民ハ爲ニ其財産ヲ保護シ、公道ヲ以テ得ル所ノ物ハ自由ニ之ヲ取ル。トテ得セシメ、自宜ク然ルベシト思ハバ、之ヲ蓄フルモ之ヲ散ズルモ共ニ意ハ如クテラシムベシ。唯他人ヲ妨害スルハ一ハ之ヲ禁ズベシ。是ヲ最善ノ法ト爲ス。凡ク富民ノ中ニ於テ或ハ其財ヲ仁慈ノ事ニ散スル者アリ、或ハ私心強クシテ隣人ノ窮ヲモ容易ニ救ハザル者アリ。今一年ニ五千磅（カポ）貨幣ノ名、十四圓ハノ收納ヲ得ル所ノ富民アリ。貧民之ヲ見テ謂ヘラク、此一家ノ收納ヲ以テ百家ノ貧民ニ

領ッ片ハ、一家各五十磅ヲ得ベシ、然ル片ハ百家ノ貧民ハ其地ニ在テ容易ニ衣食ノ資ヲ得ベシト、此言大ニ然ラズ、若富民一人ニテ百人ノ食ヲ喰ヒ、百人ノ衣服ヲ著セバ、此言或ハ用フ可シト雖モ、此ノ如キコトハ決シテ無キノコトナリ、富民ハ其收納ヲ以テ或ハ奴僕ニ與ヘ、或ハ傭夫ニ給シ、或ハ販賣ヲ為ス者工作ヲ為ス者ニ頒與ス、此等ノ民ハ富民ノ餘財ヲ得テ以テ其一家ノ衣食ヲ贍スモノナリ、富民ハ其財ヲ貧民ニ分ツコト此ノ如ク多キヲ以テ、其蓄財ハ民間ニ散バルコトハ、恰

其財産ヲ奪ヒテ之ヲ貧民ニ頒與スルニ異ナルコトナレ、或ハ私心強クシテ貧民ヲ救フコトヲ為サザル者ト雖モ、亦自貧民ヲ救助スルハ功アリ、其故ハ若シ此富民精巧ノ圖畫ヲ求ムルが為ニ、一年ニ一千磅ノ金ヲ費ス片ハ、其金ハ盡ク出テ畫工ノ手ニ歸ス、然レバ此富民一千磅ノ金ヲ以テ畫工ヲ賑恤スルニ異ナルコトナクシテ、更ニ畫工ヲシテ怠惰ニ安ンゼザラシムルノ益アリ、畫工ニ在テハ、已ノ勉強ヲ以テ金ヲ得ルト人ノ捐施ニ因テ人ノ得ルトノ異アルノミナリ、然レバ富民

為ス所此ノ如キハミニテハ其土地ハ衣食ノ  
原ヲ増加スル一能ハズ若富民其收納ノ金ヲ費  
用セズシテ善ク其大令ヲ貯蓄スルハ此貯蓄  
ニ依テ許多ノ勉強ノ民ヲ養フノ途ヲ得ベシ凡  
善ク貯蓄セザル者ハ其金銀ヲ深ク匣中ニ藏シ  
テ敢テ之ヲ用フルトナシ善ク貯蓄スル者ハ然ラ  
ズ常ニ良保護ニ憑リテ之ヲ他人ニ貸出スルヲ  
以テ是ヨリ又幾多ハ利ヲ生ズルノ益アリ譬ヘ  
バ一千磅ノ金ヲ以テ之ヲ精盡ノ為ニ費サズン  
テ之ヲ貯蓄シテ人ノ來リ借ルヲ待ツハ農人

工人商人等此金ヲ借り以テ自己ノ産業ヲ勉ム  
ベシ農人等此金ヲ以テ資本ト為シ其業ヲ勉ム  
ルハ此ニ因リテ得ル所ノ利益必ス此金ノ利足  
ヨリ多カルベシ是等ノ民己ガ利益ヲ得ンガ為  
ニ常ニ此金ヲ以テ或ハ土地ヲ耕シ或ハ衣服器  
材ノ類ヲ製造シ或ハ外國ノ貨物ヲ輸入スルノ  
資本ト為ス是ニ依テ穀物衣類及ビ其他ハ百物  
皆其地ニ於テ其數ヲ増加スルヲ得ルナリ  
○故ニ富民ハ許多ノ貨財ヲ一身ニ積ムガ如シ  
ト雖モ實ハ一身ヲ以テ之ヲ費スニ非ズ譬ヘハ

海峽ノ如シ、一旦水ヲ其所ニ東收レテ更ニ一方ニ流通スルノ用ヲ為スナリ。故ニ貨財ヲ民間ニ賑散セントスルハ、上ニ記セル法ヨリ善キ者ナカルベシ。

○富民ハ貧民ノ害ト為ルト云ヘルノ誤リハ既ニ之ヲ解説セリ。此事ニ就テ又古人ノ肢體胃腑ノ寓言アリ。今之ヲ左ニ記スベシ。

○一日人身ノ肢體相謂テ曰ク、胃腑ハ我等ノ力ヲ役シ、我等ノ勞ヲ以テ得タル食ヲ喰ヒ、毫モ其恩ヲ我等ニ報ズルナシ。豈惡ムベキノ至リニ

非スヤト。因テ各相約シ、爾後決シテ胃腑ノ為ニ力ヲ出サント誓フ。是ヨリ足ハ食物ヲ荷ノ為ニ歩ムコナク、手ハ食物ヲ口ニ送ルコナク、目ハ食物ヲ見ルコナク、耳ハ食時ノ鐸ヲ聞クコナク、其他ノ肢體亦此ノ如シ。之ヲ行フコ数日、胃腑已ニ空虚ナルニ及ビ、肢體却テ其苦ヲ受ク。脚ト腕トハ軟弱ヲ覺エ、目ハ暗キヲ覺エ、其他ノ諸部ハ盡ク疲倦衰憊ス。

○胃腑笑テ曰ク、愚ナルカナ肢體ヤ。汝等ノ我ヲ養フ所以ノ者ハ、則汝等ガ自ヲ養フ所以ナリ。汝等

が送ル所ノ食物ハ我獨之ヲ費スニ非ズ我之ヲ  
消化シテ血液ヲ製造シ之ヲ脈絡ニ輸送シ以テ  
汝等ニ給與ス汝等が氣力ノ源ヲ為ス處ノ血液  
ハ即我ガ汝等ノ勞ニ報ズル所以ノ贈遺ナリ。  
○故ニ富人ハ唯己ヲ養フハニテ人ヲ養フニ  
意ナキ者ト雖氏自其利惠ハ他人ニ及バニアリ。  
然レ氏人ヲ助ハルハ心ナキ者ハ其利惠他人ニ  
及バト雖モ是ヲ以テ其人ノ功德ト云フベカラ  
ハ若レ己ノ物ヲ捐テ人ヲ救助スルノ心アル者ハ  
其功德耶穌使徒ノ言フ所ノ如クナルベシ其言

ニ曰ク人ニ與フルニ急ギ人ニ分テ喜ブ者ハ  
自ラ未來ノ世ハ為ニ好基礎ヲ建ル者ナリト此語  
及ビ其他ノ使徒ノ語ヲ觀レバ耶穌教門ニ於テ  
モ貧富ノ區別ヲ立テ富民ノ財産ヲ保護スルヲ  
望ムトハ疑ナキト知ルベシ使徒等又富民ヲ  
誨ルニ能ク貧民ヲ救恤スルヲ以テス若使徒  
等國民ノ富饒トナルヲ許サズンバ其教誨ノ  
語甚齟齬セル言ト為ルベシ使徒等又富民ヲレ  
テ自由ニ其財産ヲ使用スルヲ許サズンバ天  
下別ニ貧民ニ施與スルノ物品ナカルベシ凡レ已

ガ意ニ任セテ使用スルヲ能ハザル物ハ、己ガ所  
有物トハ名ケ難シ。故ニ施與ハ、<sup>一</sup>ハ其人ハ自由  
ニ在ルベシ、與ヘント欲スハ、與ヘテ可ナリ、與  
ヘザラント欲セバ、與ヘズシテ可ナリ、使徒保羅  
更ニ一層ヲ進メテ人ヲ教ヘテ曰ク、己ガ心ニ於  
テ、可ナリト思フテ、之ヲ與フベシ、不可ナリト思  
フテ、之ヲ與フベカラズ、其故ハ上帝ハ喜デ與フ  
ル者ヲ愛スレバナリト。

○然レモ若人ヲ許シテ己ノ貨財ヲ用フルハ唯  
己ノ意ニ任スベシト云フハ、或ハ一己ノ私心

ニ徇ヒテ之ヲ費シ以テ自喜フ者アルベシ、此ハ  
如キ人ハ、或ハ之ニ依テ勉強ハ民ヲ養フハ、ル  
モ固ヨリ其志ニ所茲ニ在ラザハ、竟ニ徇私タ  
ルヲ免カレザルベシ、然レモ亦此人ノ所有セ  
ル貨財ヲ豪奪シ勾騙シ、又ハ之ヲ妨害スベカラ  
ズ、聖經ニ隣人ノ財ヲ貪ルヲ禁ズ、其故ハ縱令  
隣人ノ財ヲ用フル其道ニ當ラズト雖モ、其財ハ  
固ヨリ隣人ノ所有ナレバ、吾之ヲ奪フベキノ理  
ナケレバナリ。

○爰ニ一ノ富民アリテ其財ヲ用フルヲ或ハ驕

侈ニ出デ或ハ偏私ニ出ルルハ人或ハ謂ヘラク  
我ヲレテ彼ノ如ク富マシメバ必能ク其財ヲ用  
ヒテ決シテ彼ノ所為ニ倣ハジト然レバ若其人  
ハ其地ヲ易テ居ラシムバ其財ヲ用フルハ果  
シテ何如ニ己レ富人ノ地ニ居テ實ニ善ク其財  
ヲ用ヒハ真ニ貴フベキト云フベシ上帝天下  
ノ民ニ各其職分ヲ命シ又之ニ賞罰ヲ與フ其賞  
罰ハ他人ノ地位ヲ想像スルニ由テ之ヲ與ヘズ  
唯自己ノ地位ニ在テ行フ所ニ據テ之ヲ與フル  
モノナリ

### 第五節

#### 財本

○今一、富人アリ、一歳ノ間ニ其收納中ヨリ一  
千磅或ハ一万磅ヲ費スト雖モ是ヲ以テ其地ノ  
富ヲ減ズルニ非ズ富人ハ實ニ費ス處ハ己ガ衣  
服飲食等ハ料ハハニシテ其他ハ富人之ヲ以テ  
己ガ為ニ勞動シ己ガ為ニ操作スル者ニ與ヘ以  
テ其者ハハテ亦衣食及ビ其他必需ハ物ヲ買取  
セシム若勞動操作セザル者ニ金ヲ與フル時ハ  
其者怠惰ニ安ジ坐食ニ慣レ絶テ奮發勉勵セザ

ルヲ以テ、其地ノ富饒ノ源ヲ造リ出スヲ能ハズ。  
○若、富民、其者ノ力ヲ役シ、之ヲシテ花木ヲ種植  
シ、遊館ヲ築造セシムルハ、其為ス處、華侈、無益  
ハ、事ナリト雖モ、亦其民ヲ閑空怠惰ニニ委置ス  
ルニ勝ハリ。

○然レモ、若、其金ヲ以テ人ハカヲ用ヒ、其本ニ歸  
スル利益ハ、數、其初、費セシ金ハ、數ニ越ルハ、土  
地ハ、富ヲ増スト疑ナレトス。故ニ人ノ力ヲ用ヒ  
テ花園ヲ作り涼館ヲ建ルニ代ヘテ、之ヲ以テ穀  
物ヲ種藝シ、或ハ磨車ヲ作りテ穀實ヲ磨セシメ

バ、其種藝ニ由テ獲タル穀實ノ價、又ハ磨車ヲ用  
フルニ由テ他人ヨリ出ス所ノ價、(若能ク勤敏ニ  
之ヲ行フル)必、其初、此工作ニ費セシ數ヨリ多カ  
ルヘシ。花園ヲ作り涼館ヲ建ル為ニ用タル金ハ、  
己ニ工人ハ、手ニ入レバ、再、財主ニ還ルナレト  
雖モ、穀物ヲ種エ、磨車ヲ作ル為ニ用タル金ハ、其  
數ヲ増シテ、再、財主ハ、手ニ歸ス、此増數ヲ名ケテ、  
利益ト云ヒ、其為ニ用タル金ヲ財本ト云フ。  
○富人既ニ其財本ニ由テ利益ヲ得タル後、更ニ  
再、穀物ヲ種藝シ、工作ヲ興シ、年々相續ギ金ヲ工



人ニ與ヘテ其カヲ用ヒ、以テ產物ヲ作り出サレ  
ム、若レ得ル所ノ利益ノ一分ヲ以テ年々財本ニ加  
フルルハ、養フ所ノ工人ノ數ト作り出セル物品  
ノ數共ニ増加シ、是ガ為ニ土地ノ富ヲ増スヲ  
得ベシ、富人ハ之ヲ為スハ、唯自己ハ利益ヲ謀ル  
ハ、ニテ深ク土地ハ利益ヲ考フル者ニ非ス、然  
レ、凡土地ヲ富スハ、術、是ヨリ善キ者ナカルベシ、  
其故ハ凡他人ノ富ヲ減ゼズニテ己ガ富ヲ増ス  
者アレバ、即國ノ富ヲ増スノ理ナリ、或ハ他人ノ  
損失ニ由テ己ノ富ヲ増ス者アリ、此ノ如キ者ハ

毫モ土地ノ富ヲ増スヲナシ、又博奕ヲ為シ、棄施  
ヲ乞ヒ、偷盜ヲ為シテ己ヲ富スガ如キハ、己一分  
ハ財ヲ得レバ、他人ハ一分ハ財ヲ失フ、唯農業ヲ  
務メ、工作ヲ勵ミ、礦山ヲ開ク等ハ、トハ、必モ他人  
ヲ損スルハナケレバ、是ニ由テ得ル所ハ利益ハ、  
實ニ其國ハ富ヲ増ス者ト云ハベシ、

○自己ノ財貨ヲ用ヒズ、之ヲ用フル所ノ人ニ貸  
シテ其利息ヲ收ムル者多シ、今汝ヲ以テ假リニ  
一ノ工人ト為シ、父ノ遺産又ハ汝ガ自得タル所  
トシテ金一百磅ヲ貯蓄スル者ト為スベシ、汝此

金ヲ商販ニ用ヒテ其利ヲ得ルノ術ヲ知ラズ、因  
テ之ヲ匣底ニ藏メテ汝ノ子孫ニ傳ヘント欲ス、  
然ルキハ汝此金アリト雖モ之ヲ用フルヲ能ハ  
ズ、二十年或ハ三十年ノ後、汝ノ子孫匣ヲ發キテ  
此金ヲ見ルニ、初汝が藏セシ時ト同クシテ少シ  
モ其數ヲ増スヲナシ、若汝年々此金五磅ヲ用フ  
ルキハ、二十年ノ終ニ至リ、金匣全ク空虚ト為ル  
ベシ、汝若シ此金ヲ以テ金ヲ用フルノ人ニ貸シ、元  
金ヲ安全ニスル為ニ保證ヲ取り置クキハ、其人  
ヨリ年々四磅或ハ五磅ノ金ヲ汝ニ贈ルベシ、是

ヲ名ケテ元金ノ利息ト云フ、此法頗汝ニ益アリ  
ト雖モ、更ニ一層ヲ進メ、其一百磅ノ金ヲ以テ物  
品ヲ造リ出スト、考ハルキハ、倍良善ナルベシ、  
譬ヘバ汝此金ヲ以テ布匹ヲ織リ、几案ヲ作ル所  
ノ工人ニ給スルキハ、其造リ出セル物品ヲ以テ  
毎年一百十磅ノ金ヲ得ベシ、然ルキハ、一百磅ハ  
元金ヲ除テ年々十磅ハ益アリ、汝自ラ五磅ヲ費ス  
ト雖モ、猶年々五磅ハ金ヲ餘スベシ、  
○此法ヲ行フキハ、己ノ財産ナキ者ト雖モ、能ハ他  
人ハ金ヲ借りテ之ヲ用フルヲ得ルヲ以テ、質

易工作ノ為ニ大ニ財本ヲ生ズルヲ得可シ。  
○土地ニ財本多キハ勞工ヲ為ス者ノ為ニ利  
アリ。若シ主人貧乏ナルハ多ク工人ヲ養フ能  
ハズ。又其工人ニ工錢ヲ給與スルヲ能ハズ。  
○今又汝ヲ以テ假ニ一ノ貧主人ト為シ、新ニ居  
ヲ定メシ地ニ於テ隣人ヲ雇ヒテ汝ガ田ヲ耕サ  
シメントスルハ、汝隣人ニ納スルニ其田ノ收實  
ヲ分チ、以テ其勞ニ酬ヒントスルヲ以テセバ、隣  
人必ラズ曰ハン。吾固ヨリ擔石ノ儲ナシ。予日々  
吾ニ工錢ヲ給セズンバ、吾將ニ飢餓ニ迫ラント

スト。然ルニ汝一身ノ生活ヲ為スノ外ニ些少ノ  
餘金ナケレバ、田ノ收實ヲ得ザル間ハ隣人ニ與  
フベキノ財本ナシ。是ニ由テ汝ノ田ハ人力足ラ  
ズレテ半ハ荒蕪シ、隣人ハ食ヲ求ムルガ為ニ林  
ニ入テ野草ヲ採リ、又ハ獸ヲ獵シ、魚ヲ漁シ、以テ  
己ガ性命ヲ保續センヲ求ムベシ。汝貧困ニシ  
テ田ヲ耕スノ財本ナキ時ハ、耕夫皆散ジテ各自  
ニ生活ノ計ヲ為スヲ以テ、汝ノ田肥沃ナリト雖  
モ、終ニ能ク穀物ヲ產出スルヲ得ザルベシ。凡  
民ハ、カヲ勞スルハ、漸々富ヲ得ルハ途ニ近ダカ

ハ以テナリ、若クハ勞シテ富ヲ得ルハ途ナクハ  
ンバ、誰人モ己ガカヲ勞スル者無カハベシ、  
○凡ッ富ハ富ノカニ由テ之ヲ得可シ、即チ財本ハカ  
ニ由テ之ヲ得ベシ、若クハ財本無ケレバ人ノ力ヲ用  
フルヲ能ハズ、穀物ハ人ノ力ニ由テ得ル者ナリ、  
穀物ヲ作ラントスルニハ、其初、或ハ田ヲ耕種シ、  
或ハ農夫ヲ役スル等ノ為ニ幾多ノ財本ヲ費サ  
ザルヲ得ズ、農人ノ用フル器械ハ初ハ他ノ器  
械ヲ以テ之ヲ作りシ者ナリ、其鐵刃ハ鐵器ヲ以  
テ鐵礦ヨリ掘取リシ者ナリ、此事ハ農業ノ一事

ノミニ非ズ、凡百ノ工業大抵皆此ノ如ク、若クハ工業  
ヲ營ハノ人赤手ヲ以テ其業ヲ執リ、器械ニ代ル  
ニ、木槌或ハ尖石ハミヲ以テヒバ、其工ハ為ス極  
ハテ用苦ニハテ時日ヲ費スハ亦甚久シカハベ  
シ、

○故ニ財本ノ不足ナル地ハ、其民口常ニ多キ  
能ハズ、而メ其民能ク生業ノ道ニ勉勞スト雖モ、  
其衣食家宅共ニ富郷ニ住セル貧人ニ及バズ、富  
饒ノ地ハ、居民ノ數常ニ太ダ多ク、其民又自ラ手ヲ  
下レテ生活ノ道ヲ營マザル者多シト雖モ、衣食

家宅ノ美、貧郷ニ勝ルヲ萬々ナリ。

○田主其田ヲ耕作スルガ為ニ耕夫ト馬トニ費ス所ノ金銀食料ノ類、又織主其職工ニ費ス處ノ金銀食料ノ類ハ共ニ之ヲ循環ノ財本ト名ク、其故ハ田主織主其初之ヲ其耕夫織工ニ分與スト雖モ終ニハ循環シテ或ハ穀物ト為リ或ハ布匹ト為リテ其本主ニ還ルヲ以テ此名ヲ命ゼン者ナリ。又田主ノ廬舍、鋤犁荷車、馬ノ類、及ヒ織主ノ織機倉庫ノ類ハ共ニ之ヲ固定ノ財本ト名ク、其故ハ是等ノ諸物ハ他人ニ分與スルヲナク、本主

タル者之ヲ固有シテ久シク之ヲ用フルニ利アリ、依テ此名ヲ命ゼン者ナリ。

○輒近新ニ精巧ノ機器ヲ創造スルニ及ビ、從來許多ノ人カヲ用ヒシ者、今些少ノ人カヲ用ヒテ足レルヲ以テ、是ガ為ニ工人ノ業ヲ失フ者甚多シ、然レハ後年ニ至リ、此機器ニ因テ、許多ハ工人其業ニ就カハ得ルヲ從前ヨリ猶多カルベシ、一例ヲ舉テ之ヲ言ハシ、印書ノ機器ヲ創造セシキ、僅カノ工人ヲ以テ許多ノ書籍ヲ印出セシヲ以テ、舊來謄寫ヲ業トセシ數百ノ工人、一時ニ其業ヲ

失へり。然レ凡書籍ノ價之ニ依テ大ニ低下セシ  
ヲ以テ、之ヲ買フ者甚多ク、暫時ニハ印書ノ業  
トスル人ハ數、舊來謄寫ノ業トセハ人ハ數  
ヨリ増加セリ、此事ハ特、印書ノ業ハミニ非ズ、凡  
百ハ機器皆是ト同理ナリ、

○又富民財本ヲ用フルノ一法アリ、此法ハ之ヲ  
行フニ民ノ力ヲ用フルヲナシト雖モ、民皆之ヲ  
以テ己ニ害アリト為シテ之ヲ謗議スルヲアリ、  
今穀物及ビ其他ノ食物ヲ賣ル者アリ、其者毎ニ  
密ニ意ヲ用ヒ、價ノ低下セル片ニ之ヲ買テ貯藏

シ、價ノ昂貴スルヲ待テ之ヲ賣リ、以テ其財本ヲ  
増加セントス、然ルニ民ノ無智ナル者ハ麁包ノ  
價ノ昂ルヲ見ル片ハ、皆罪ヲ穀商ニ歸シ、謂ヘテ  
ク穀價ノ騰貴スルハ彼之ヲ貯藏スルニ由テナ  
リト、殊ニ知ラズ凶荒ノ年ニ當リ、民ハ餓死ハ救  
フハ、此穀商ハカニ在ルヲ、此穀商ハ固ヨリ民  
ヲ惠ムノ志アル者ニ非ズ、唯他ノ商賈ノ如ク己  
ガ財本ヲ増加セント欲シ、價ノ低下セル片ニ之  
ヲ買ヒ、以テ價ノ騰貴スルヲ待ツ者ナリ、然レハ  
其行フ所、自能ク今年有餘ハ穀物ヲ貯ヘ、以テ他

年不足ハ民食ヲ補ハハ理ニ協ハリ、是ハ由テ豐  
歲ニハ穀物ヲ浪費スルハ患ナク、凶歲ニハ民ハ  
餓死ヲ救ハハ益アリ。

○今洋上ヲ航行スルノ一船アリ、船將、其船中ニ  
貯ヘタル食物ヲ檢スルニ三週日ノ用ヲ餘スニ  
過ギズ、而レテ此船ハ猶四週日ノ間海上ニ在ラ  
ザルベカラズ、船將已ムヲ得ズ、水夫ニ命ジテ  
其食量ヲ減ジ、人々食フ所、其平日ノ四分ノ三ニ  
過ギザレメ、以テ其糧食ヲ保持セント欲ス、若  
此時、水夫等食量ノ不足ヲ怒リ、強テ船將ヲ要シ、

其常量ノ食ヲ吃スル片ハ、三週ノ終リニ至リテ、  
船中ノ糧食全ク竭キ、後ノ一週間ニ於テ水夫大  
抵餓死ニ至ルベシ。一國ノ食物モ亦然リ、全國ノ  
收實常年ニ減ズト雖モ國民ハ後日ヲ慮ルヲ  
知ラズ、其穀物ヲ食フヲ皆平日ノ如クナルベシ。  
○此年饑饉ニ因テ穀物ノ收納大ニ減ズルニ、國  
民皆常量ノ食ヲ吃スル片ハ其穀物一年ノ四分  
ノ三ノ用ニ供スルニ過ギズ、此時國民ハ猶已ノ  
食ヲ節スルヲ知ラズ、穀物ヲ食フヲ常ノ如ク  
ナル片ハ、第九月ノ終リニ至リテ國中ノ穀物ヲ

食と盡し。後ノ三月ハ餓莩路ニ横ハルノ慘ヲ見ルベシ。

○然ルニ國ノ政府ハ、全國ノ民ヲシテ其食量ヲ減セシムルヲ船將ノ如クナルヲ能ハス。又全國ノ民ハ各協意同心シテ自、其食量ヲ節スルヲ能ハズ。然ラバ何ノ法ヲ以テ此饑饉ヲ救フベシヤ。是區々タル人智ヲ以テ之ヲ救フベカラス。自然ハカヲ以テ之ヲ救フ可シ。此凶年ニ當リ。若シ穀物ノ價、平時ニ異ナラザルヤハ、國民皆常量ノ穀ヲ食ヒテ、其欠乏ヲ慮ルヲ知ラザルベシ。然ルニ

農夫磨車工、及ビ其他ノ財本アル者、年ノ凶歉ナルヲ見ルハ、速ニ穀物ヲ諸方ヨリ買聚シ、之ヲ倉庫ニ貯ヘ、以テ價ノ昂貴スルヲ待ツ。之ヲ求ムル者アリト雖モ高價ニ非ザレバ決シテ之ヲ賣ラズ。是ニ於テ國民穀價ノ貴キニ窮シ、止ムヲ得ズ。已ガ食量ヲ減ズルヲ始ム。是ニ依テ全國ニ於テ食フ處ノ數大ニ減ジ、遂ニ本年不足ハ穀ヲ以テ、明年收穫ハ時マデ保續シ得ベキヲ、ハ恤船中ニ於テ、其食量ヲ節スル時ニ同シ。是ニ由テ、國民ハ穀價騰貴ハ苦ヲ受ケルト雖モ、饑餓死シ



ハ大患ヲ免カルハ、得可シ。

○凡凶年ニ當リ穀物ヲ買聚スル者ハ、固ヨリ一己ノ利ヲ得ント欲スルノ外他意ナキ者ナリ。然レ、此者ノ所為ニ因テ、全國ハ食量ヲ節シ、以テ餓死ノ患ヲ免カレシムル者ハ、眞ニ奇ナリトイフベシ。嗚呼造物者ノ智實ニ測ルベカラザルカナ。蓋此事ハ穀物ノミニ非ス、凡百ノ物皆然リ。故ニ人ノ上タル者ハ人々ヲシテ自由ニ其財本ヲ用ヒ、其利ヲ收メシムルハ、其人固ヨリ仁慈ハ心アル者ニ非ズト雖モ、其為ス所ハ自ラヲ救フ

ハ功ヲ奏スルヲ得ベシ。

### 第六篇

#### 租税一

○聖經ノ尼希米記ヲ按ズルニ、猶太ノ民囚繫ヲ脱シテ國ニ歸リシ先、其都城ノ壘壁ヲ修築セリ。然ルニ敵人屢來テ之ヲ妨礙スルヲ以テ、猶太人常ニ兵器ヲ帶シテ自衛リ、敵人不意ノ攻襲ニ備フルが為ニ、人々皆隻手ヲ以テ工作ヲ為シ、隻手ヲ以テ劍戟ヲ執レリ。是ニ因テ二人ノ力ヲ合セテ僅ニ一人ノ工作ヲ為スニ過ギズ、此事甚不

便ナリト雖モ危難ノ恐アルヲ以テ勢此ノ如ク  
セザルヲ得ズ。

○此時代ニ於テ東方諸國ノ狀ハ大抵是ニ同シ。  
亞刺伯人ノ如キハ殊ニ然リトス。是等ノ國ニハ  
必、盜賊アリテ諸所ニ徘徊シ、常ニ居民ノ隙ヲ窺  
ヒテ搶奪ヲ行フ。故ニ良民ハ兵器ヲ以テ自衛ル  
ニ非ザレハ搶奪ノ禍ヲ免カルハ不能ハズ。旅客  
某ノ言ニ曰ク、東方野蠻ノ國ニ於テハ農民、田ヲ  
耕サントル時、先同伴者ヲ雇ヒテ共ニ行ク。同  
伴者ハ劍或ハ矛ヲ執リ、以テ盜賊ノ来リテ穀種

ヲ偷マントスル者ヲ防グ。是ニ由テ田ヲ耕スニ  
許多ノ費ヲリ、其故ハ一人ヲ以テ耕スベキ地ニ  
二人ノ力ヲ用ヒ、而シテ其内一人ハ耕シ一人ハ  
防守スルヲ以テ、其田ノ收實ヲ以テ之ヲ二人ニ  
分タザルヲ得ザレバナリ。(若、防守ノ者トケレ  
バ、一人ノ有ト為ルベキ收實ナリ)此ノ如ク意ヲ  
用フト雖モ、或ハ遂ニ防守ノ功ノ全クスルヲ  
得ズ。其故ハ收穫ノ時ニ至リ、盜賊等群ヲ為シテ  
農民ノ田野ヲ掠メ、其連月勞力セシ收實ヲ奪ヒ  
去ルヲアレバナリ。故ニ此ノ如キ國ニ於テハ田

圃ト為リタル地ハ甚少ナク。大抵ハ委棄シテ荒蕪ノ地ト為レリ。居民モ之ニ准ジテ其數甚少ク。土地ノ大ニ比較シテ大約二十分ノ一ニ及バズ。此ノ如キ國ハ皆甚貧困憫ムベキノ狀ヲ具ヘタリ。其貧困ニ陷ルノ源ハ。民皆己ガ財産ヲ保護スル能ハザルニ出ル者ナリ。

○凡野蠻ノ國或ハ野蠻ニ近キ國ニ於テハ。其人民ノ狀態大抵爰ニ記スル所ニ同ジ。其民常ニ盜賊ノ掠奪ヲ防クガ為ニ。時ヲ費シ。力ヲ勞シ。纔ニ己ガ所有物ヲ保存スルヲ得ルナリ。故ニ盜賊

ノ力甚強カラズ。闘ヒテ之ヲ退クベキ時ハ。兵器ヲ備ヘテ自衛リ。又盜賊ノ力甚強クシテ與ニ敵ムベカラザル片ハ。預逃遁ノ所ヲ設ケテ。其内ニ潛匿ス。新西蘭<sup>ニュー・ゼーランド</sup>澳大利<sup>オーストラリア</sup>ニ屬ノ如キハ。其民數家相合レテ一夥ト為リ。峻絶ナル山嶺ノ上ニ小舎ヲ造リ。其周圍ニ湟ヲ鑿シ。楨ヲ植エ。以テ隣人ノ寇掠ニ備フ。然レモ隣人大群ヲ為シテ來リ侵シ。或ハ夜ニ乘ジテ襲撃シ。以テ之ヲ奪フアリ。此ノ如キ土地ニ於テ。年々人ノ殺戮セラル。其甚多ク之ヲ歐羅巴ノ諸國ニ比スレバ其多キヲ百倍

ニ及フベシ。此等ノ地ハ人口固ヨリ稀ナルモ、  
全國ノ人口ニ比スレバ、其ノ人口固ヨリ稀ナルモ、  
ト雖モ、其失フ所ノ財産ハ甚僅少ノ物ナリ、其故  
ハ其民甚貧ニシテ、其所有ノ物固ヨリ甚多カラ  
ザレバナリ。凡是等ハ民ハ初ニ自己ヲ防護スル  
ガ為ニ時ト勞トハ半ヲ費シ、終リニ勞カハ收實  
ヲ失フ。アルハ患ヲ免カベズ、此ノ如キ土地ニ  
住スル民ハ直ニ不幸ノ至リト云フベシ。  
○此民ノ不幸ヲ救ハントスルニハ、政府ヲ立ル  
ヨリ外ニ良法アルナレ。政府ハ職ハ保護ヲ以

テ主ト為ス。即他ハ侵暴欺罔ヲ防ギテ民ハ身體  
ト財産トヲ安全ニスルニ在リ、政府此旨趣ヲ行  
フ為ニ軍艦ヲ造リ兵士ヲ養ヒ、以テ海賊ヲ懲レ、  
強盜ヲ威レ、又以テ隣敵ノ侵暴ヲ防グ、又警吏ヲ  
置キ捕役ヲ命ジ、以テ暴惡ヲ戒メ、按司ヲ置キ、審  
院ヲ建テ以テ裁斷ヲ行ヒ、獄舎ヲ作り、以テ罪人  
ヲ繋グ等ノ事ニテ、約シテ之ヲ言ヘハ、民ノ安全  
ヲ保護スルガ為ニ必要ノ事務ヲ行フニ在リ。  
○凡、海陸軍資ヲ始メトシテ政府百般ノ要需ハ、  
必、民ヨリ其費用ヲ出サバルバ、是、政府民

ヲ愛育スルニ由テ、民之ニ酬ユルノ事ナカルベ  
カラザルノ理ニ據ルナリ。之ニ酬ユル所以ノ道  
ハ何ゾ。租税ヲ納ムルナリ。義務ヲ盡スナリ。租税  
トハ何ゾ。政府其民ヲ管理保護スルニ由テ、民ヨ  
リ其價ヲ政府ニ償ハ者ナリ。東方諸國ニ於テ、農  
民其同伴者ニ盜賊防護ハ價ヲ出スト同シ理ナ  
リ。

○然ルニ世人或ハ此事ヲ察セズ、亦能ク此理ヲ  
解セズ、謂ヘラク已カ所有ノ金ヲ人ニ與フレバ、  
必、其金ニ易ルノ物ヲ得獨、租税ハ之ヲ政府ニ納

ムト雖モ、之ニ易ルノ物ヲ得ルヲ能ハズト。是大  
ニ然ラズ。審ニ其理ヲ考ノルハ租税ハ如キモ、  
之ヲ政府ニ納ムレバ、之ニ易ルノ物ヲ得ルト他  
物ニ異ナルヲナレ。今金ヲ烘麵人ト屠者トニ與  
フルハ、我口腹ヲ養フノ物ヲ得ベシ。金ヲ裁縫  
匠ニ與フルハ、我身體ヲ被フノ物ヲ得ベシ。租  
税ヲ國王又ハ議事院ニ納ムルハ、搶奪兇殺欺  
罔ヲ防ギテ我一身ヲ安全ニスルハ道ヲ得ベシ。  
若烘麵人屠者裁縫匠國王議事院ナキ時ハ、我生  
涯ノ一半ハ衣食ヲ得ルヲニ費シ、其一半ハ盜賊

ヲ防禦スルノ一ニ費スベシ、而シテ其防禦多ク  
ハ一身ヲ以テ之ニ當ルニ足ラズ、必<sub>ズ</sub>他人ヲ備ヒ  
テ警守驅逐ノ一ヲ委托セサルヲ得ズ、然ル<sub>ハ</sub>片  
ハ其費用ノ多キ、必<sub>ズ</sub>租稅ヲ納ムルニ勝サル  
ベシ、而シテ到底其防禦ノ功ヲ全クスル能ハザ  
ル、一ハ野蠻ノ事ヲ見テ明證ト為スミシ、凡ソ良  
政治ノ民ニ惠アルヲ固ヨリ言ヲ俟タズ、縱令  
惡政治ナリト雖モ、夷<sub>ラ</sub>カニ之ヲ考フル<sub>ハ</sub>、全ク  
政治ナキニ勝レリ、古代羅馬ノ皇帝ニハ暴雲ノ  
君多ク、屢無辜ノ民、財ヲ奪ヒ、或ハ之ヲ殺セシ

アリ、然レハ新西蘭ノ如キ野蠻ノ國ヲ以テ比  
較スルニ、羅馬國ニ於テ十年ノ間ニ搶奪殺戮セ  
シル、者ノ數(全國人口ノ多寡ニ比シテ)新西蘭  
等ニ於テ、一年ノ間ニ搶奪殺戮セラル、者ノ數  
ヨリ少キヲ見レバ、惡政治雖モ猶政治ナキ者ニ  
勝レルノ證ヲ知ルニ足ルベシ、

第七節

租稅二

○以上論ズル所ニ依テ之ヲ見レバ、租稅ナル者  
ハ人民己ノ保護ヲ買フ為ニ政府ニ交付スル所

ノ。價ナリ。都テ日用諸物ヲ買フ為ニ價ヲ出スト  
其理正ニ相同シ。

○然モ日用ノ諸物ヲ買フト、政府ノ保護ヲ買フ  
トハ、實事ノ上ニ於テ少ク異ナル所アリ。日用諸物  
ヲ買フハ、買フ者ハ意ニ任スベクレテ租税ヲ納  
ムルトハ、納ムル者ハ意ニ任ストテ得ズ。譬ヘバ  
今鞋ヲ要スルヲアル片鞋匠ヨリ之ヲ買ハズ或  
自、鞋ヲ造リ、或ハ跣足ニテ歩行スルモ亦妨ナ  
シ、其他ノ諸物ヲ用フルモ亦之ニ同じ。租税ヲ納  
ムルニ至テハ、此ノ如ク己ガ望ニ從フヲ能ハズ。

今一人アリ、自、モ、我ハ自己ノ力ヲ以テ我身體  
ト財産トヲ保護シ、其卒水夫捕役審官ノ力ヲ假  
ルヲトシ、故ニ我ハ租税ヲ納ムルヲ欲セズト。  
理一通ズル者アリテ之ニ答テ曰シ、汝若租税ヲ  
納ムルヲ欲セズンバ、速ニ此地ヲ去テ亞米利  
加ノ荒野此書ハ英國入ノ記スル所ナル故ニ、亞  
ノ如キ所ニ至リ、即、甸土蕃ト共ニ栖止シテ彼ノ  
如キ生活ヲ為スベシ。汝、政府アルノ地ニ住シ、我  
儕ト共ニ居ルキハ、汝一人政府ノ保護ヲ受ケズ  
トシテ自、隔異スルヲ能ハズ。政府軍艦ヲ備ヘ陸

軍ヲ養ヒ、以テ他國ノ侵寇ヲ防グルハ、凡、此土地ニ居ル者、彼此ノ別ナク一人モ政府ノ保護ヲ受ザル者ナシ。又政府法律ヲ立テ審官ヲ置キ、以テ盜賊兇殺ヲ防グルハ、汝ガ政府ノ保護ヲ受ルハ、吾儕ト取テ異ナルヲナシ。縱令汝ハ政府ノ保護ヲ受ルヲ願ハズトモ、政府ニ於テ汝一人ヲ棄テ保護セザルヲ能ハズ。故ニ汝ハ租税ヲ納ムルヲ欲セズトモ亦汝一人租税ヲ政府ニ納メザルヲ能ハズ。若汝強テ汝ガ意ヲ達セント欲セバ、速ニ此地ヲ去リ、不毛荒漠ノ野ニ行テ其生計ヲ求ムベシ。

○是ヲ以テ凡、都邑村落ニ住居スルノ民ハ、必、政府ノ命令ヲ奉ゼザルベカラズ。租税ヲ政府ニ納ムルベカラズ、其租税ハ額ハ、政府ハ定ムル所ニ從ハザルベカラズ。然ルニ此事ニ就テ又租税ヲ納ムルト他物ヲ買フト同ジカラザルノ理アリ。今一ノ工人ヲ雇ハントスルニハ、先、其工價ノ約シテ後ニ之ヲ雇フトトス。若、雇ハル者ノ望ム所、雇フ者ノ意ニ應ゼザルハ、其者ヲ棄テ別ニ他ノ工人ヲ雇フモ妨ナシ。租税ノ如キハ然ル



能ハス、凡、政府タル者ハ國王、大統領、元老、議事  
院、別ナク、總テ國民ヨリ租税ヲ取ルハ權アリ、  
若、此權無ケレバ、亦國民ヲ保護スルヲ能ハサル  
者ナリ、故ニ租税ハ如キハ固ヨリ保護ハ價ナリ、  
ト雖モ、民自其數ヲ定メテ之ヲ政府ニ納ムルヲ  
能ハズ、必、政府ハ定ムル數ニ從テ之ヲ納メザル  
ト、得ス、

○政府ハ租税ヲ民ニ取ルノ權アルヨリシテ或  
ハ此權ヲ過用シ、民ヲ保護シ民ヲ管理スルニ必  
要ナル税額ノ外、過名ノ租税ヲ貪リ取ル者アリ、

國民此暴政ヲ防ガント欲シ、自、代人ヲ撰舉シテ  
政府ニ抵抗スル者多シ、英法二國ノ巴力門<sup>パリメント</sup>ノ議  
員ノ如キハ即、是ナリ、此議院ハ決議ナキ間ハ法  
律ニ定メ租税ヲ課スル能ハザル、トト為レリ、  
○凡、國民政府ニ對シ、己ガ納ムル所ノ租税ヲ以  
テ、無益ニ消費セザラシト望ムト、己ハ保護シ  
己ヲ管理スルハ外、別ニ過多ノ租税ヲ課セザラ  
シト望ムハ理ニ於テ不可ナルトナレハ、然レモ  
諸人多クハ政府ノ保護ノ中ニ在テ自、其恩ヲ知  
ラズ、若、政府ナキ國ノ情狀ヲ料察スルモ、政府

ノ我ニ恩アルヲ淺薄ニ非ルヲ知ルベシ。凡、政府ハ己ヲ保護スルハ、自己ハガヲ以テ我身ヲ保護スルニ比スレバ、其價甚廉ナリ。今日用ノ衣服ト鞋トヲ要スルヲアルニ、之ヲ裁縫匠ト鞋匠ヨリ買ハズシテ自ラ之ヲ造ルヤハ、衣服鞋共ニ其品ハ大ニ買フ者ニ劣リテ其價ハ却テ買フ者ヨリ貴シ。若、政府ノ保護ヲ厭ヒ、自己ノカラ以テ我身體ト財産トヲ保護スルヤハ其保護ハ劣レハ、下ハ衣服ト鞋トハ劣レ、ル、ヨリ、猶甚シ、眞ニ能ク保護ノ方ヲ盡サレトスル時ハ、其費ハ租税ヲ納ムル

ヨリ甚大ニシテ、到底十全ノ保護ヲ得ルヲ能ハサル者ナリ。

### 第八節

#### 租税三

○凡、民ヨリ納ムル所ノ租税ハ、之ヲ現今ノ用ニ費スヨリ、既往ノ用ニ費スノ多シトス。即、國債ハ利息ハ為ニ之ヲ費ス、下最多シトス。戦争連續スルヤハ、用度多端ニシテ定額ノ租税ヲ以テ之ヲ充タスニ足ラズ、是ニ由テ、政府金ヲ國中ノ富民ニ借り、以テ一時ノ用ヲ辦シ、全ク其金ヲ還シ盡

スニ至ルマデ。年々其利息ヲ財主ニ與フルヲ  
約ス。實ハ此金ヲ還シ盡スノ期ナク。民亦其還シ  
盡ス。ト望マザル者ナリ。故ニ財主ハ己ガ金ノ  
為ニ常ニ政府ヨリ歲給ヲ受ク。即チ政府ニ納ムル  
租稅ハ、一分ヲ受ルノ權ヲ得ルナリ。此歲給ハ或  
ハ政府ノ憑據ト名ケ。又ハ資本ノ産業ト名ケ。此  
人ヨリ彼人ニ賣ルベク。又一人ノ歲給ヲ以テ衆  
人ニ分ツベキ。トハ他ノ財産ニ異ナル。ナシ。若  
貧人些少ノ金ヲ儲得タル。政府金ヲ國民ニ借  
ル。トアレハ。貧民其儲金ヲ出シテ之ヲ政府ニ貸

シ。又ハ僉用銀鋪僉用銀鋪ハ貧人ノ金ヲ貯カリ  
ヲ寄スル。キハ銀鋪ヨリ之ヲ政府ニ貸スベシ  
然ルルハ此貧民亦政府ノ為ニ財主ト爲リ。租稅  
ノ一分ヲ政府ヨリ受ル。ト得ベシ。若チ政府ニ於  
テ法度ヲ立テ國債ヲ民ニ償還スル。トナキ時ハ  
凡下ニ在ルノ民ハ。傭工ノ如キニ至ルマデ盡ク  
其蓄財ヲ失ヒ遂ニ全國ノ疲弊ト爲ルベシ。其故  
ハ此ノ如ク爲スルハ。政府己ガ用ヲ充タスカ爲  
ニ。民ノ財産ヲ奪ハハ理ナハナリ。

○古代ハ軍事アル毎ニ額外ノ租稅ヲ民ニ課シ

其租稅ヲ以テ或ハ火藥ト為シテ飛散シ、或ハ軍衣ト為シテ摩消シ、或ハ船舶ト為シテ破壞シ、必モ之ヲ民ニ償還スルヲナカリシハ、甚歎ムヘキノ至リナリシ、方今ノ法ニ從フキハ、舊收ハ租稅ハ之ヲ軍資ニ費シ盡シ、新收ハ租稅ハ財主ハ利息ハ為ニ其額ヲ増スト雖モ、絶テ諸民ハ疲弊ヲ致ストナク、其貸財流通シテ此人ハ手ヨリ彼人ハ手ニ移ルトト為ルナリ、凡此國ノ民タル者ハ盡租稅ヲ政府ニ納メザルベカラズ然レ氏政府ノ財主ハ亦租稅ノ一分ヲ受テ已ガ所有ト為ス

一ツ得ベシ政府ノ財主トハ政府ノ需用ノ時金ヲ政府又ハ儉用銀舗ニ出ス者はナリ故ニ租稅ハ一時之ヲ政府ニ出スト雖モ、其一分ハ再還リテ貧民ハ囊中ニ入ルト疑ナレトス  
○租稅ノ大部ハ國債ノ利息ニ費スト云フコハ上ニ已ニ之ヲ論ゼリ、今一民二十士零一士零ハ我ニ十四ノ租稅ヲ納ムルト為スルハ、政府ニテ之ヲ分配消用スルノ算計大略左ノ如シ、

海軍陸軍ノ費用  
七士零 二連士  
國王審官宰相及

諸官負，給俸

政治ノ費用。

十邊士

給俸外，諸費

國債，利息

十二士零。

經濟要旨卷之上終